

知っておきたい交通ルールとワンポイントアドバイス

冬道ドライブは慎重に!

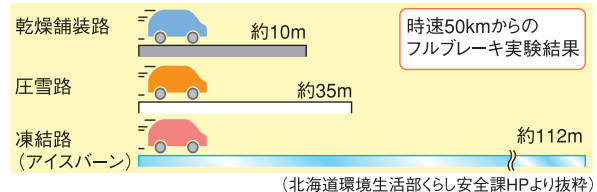
北海道にはスキー・スノーボードや温泉露天風呂など冬ならではの楽しみが沢山ある。何かと衣類や道具など持ち物が多かったりするのでレンタカーでの移動はとて重宝するものだ。とは言っても冬道の運転はかなり難易度が高い。大きなトラブルにならないよう、基本的な知識だけはインプットしておこう。



冬期は雪道用のタイヤがレンタカーに標準装備されている。

滑る!

「圧雪路面」は降雪が重なり押し固められた状態。「アイスバーン路面」とは雪が一旦溶けて再び凍り薄い氷の膜になる状態。とくにアイスバーン路面はとてよく滑る。一旦スリップすると制御しにくくなるからとて危険だ。



なるほど! ブラックアイスバーンにだまされない!

アイスバーンの中でも、「ブラックアイスバーン」というやっかいな路面がある。雨や溶けた雪が再氷結するときに見える路面だが、一見すると普通の軽く濡れた路面のように見える。実はこれが一番滑る路面なのだ。冬の「黒く光る路面」は要注意!

見えない!

猛吹雪になると前が見えなくなる。地面の雪が強い風に舞い上げられて視界不良になることもある。また、対向車のトラックが巻き上げる雪煙も一瞬視界がなくなる。こんなときは速度を落としながらゆっくり進むしかない。



埋まる!

深い雪に入ると埋まって抜け出せなくなることがある。なるべく除雪されているところ、車が通った跡があるところを走行しよう。



やってはいけないこと!

「急ブレーキ」「急加速」「急ハンドル」

とくに、急ブレーキをかけて車輪がロック(止まったまま滑ること)すると、車が制御不能になりとて危険。



ワンポイントアドバイス 冬道運転が初めての人は※ABS(エービーエス)付きのレンタカーを指定して予約すること!

※ABS:アンチロックブレーキシステムは、急ブレーキをかけても車輪がロックしない。急ブレーキをかけつつ、衝突を回避するためのハンドル操作ができるシステムだ。但し、氷結路面がつるつるの時等、路面との摩擦が極端に少ないとき、ABSは効果を失う、過信は禁物だ。



ワンポイントアドバイス ブレーキが壊れた!?

ABS(アンチロックブレーキシステム)は初めての人は驚くかもしれない。凍結路面でタイヤがロック(車輪が止まったまま滑る状態)した時、ブレーキを踏んだ瞬間、「ガー」という大きな音がする。これは、自動的にブレーキの効き方を制御する装置が作動した音。慌ててブレーキを緩める必要はない。



冬道運転の心得 3か条

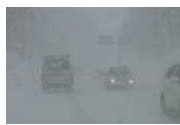
ゆっくり走る

基本はやはりスピードを出し過ぎないこと。ゆっくり走ること危険を回避するため時間的猶予が増える。



車間距離をとる

前の車との距離を保っておくことで、何か突発的なことが起こっても対応する時間を持つ。



前の交通状況を把握する

冬の接触事故の多くは気づくのが遅れることが原因。前のその前の車のブレーキランプを気にし、前方の交通状況に注意すること。



なるほど! エンジンブレーキを覚えよう!

下り坂では車は自動的に加速される。そんなときはブレーキを踏まずに、エンジンブレーキを使うとスピードが抑えられる。エンジンブレーキとは、オートマチックミッションを「D:ドライブ」ではなく「S」(車種によっては数字の「3」や「2」など)のモードに切り替えることによってギアの手前でスピードを制御できる機能のことだ。切り替えは減速しながらゆっくりと行うこと。

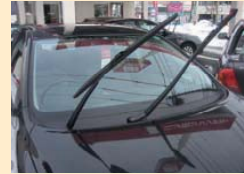


知っておきたい冬道ドライブ豆知識

ひと口MEMO

1 ワイパーが凍って動かない

濡れたままのワイパーは凍るとフロントガラスにくっついてしまう。夜はワイパーを上げておくと防げる。



2 晴れの日も眩しいぞ

冬は太陽の光が地面一杯の雪に反射してとても眩しい。サングラスを用意しておくとう便利だ。



3 雪の塊が車のルーフから滑り落ちてきた

車の屋根に降り積もった雪は必ず払い落とそう。走行中に突然雪の塊がフロントガラスに滑り落ちてきて視界がなくなることもある。



4 どれくらい滑るの?

周囲の安全を確認できるところで低速走行からブレーキを踏んでみると、その日の滑りやすさがわかる。前後に車がいるときは危険なので絶対にはやらない。



5 前の車が雪融け水をはねあげる

前の車や対向車が雪融けの水をはねあげ、フロントガラスが見えなくなることがある。ウインドウウォッシャー液は十分に確保したい。凍らない専用液はカー用品店やホームセンターで買うことができる。



6 真っ白で道路の位置がわからない

猛吹雪になると前が見えなくなる。地面の雪が強い風に舞い上げられ視界不良になることも。また、対向車のトラックが巻き上げる雪煙により一瞬視界がなくなることもある。こんな時は速度を落としながらゆっくり進むよう心がける。



悪天候時は、外出しない!

冬は地域によって気象状況が大きく変わる。場所によっては携帯電話の電波が届かない区域もある。その様なところで立ち往生すると連絡できずに長時間極寒の中で凍えてしまう。レスキューの到着までに数時間かかることもある。命の危険が伴うのだ。悪天候の予報の時は、予定を変更してでも外出しないこと。

作成：北海道外国人観光客ドライブ観光促進連絡協議会
(構成機関)

国土交通省北海道開発局、国土交通省北海道運輸局、北海道、北海道警察本部、北海道経済連合会、(社)北海道観光振興機構、北海道地区レンタカー協会連合会、千歳空港レンタカー連絡協議会、北海道空港(株)、(社)日本自動車連盟北海道本部、東日本高速道路(株)北海道支社、(社)シーニックバイウェイ支援センター